

平成 30 年度第 1 回感幸まちづくり会議ワークショップ記録

ワーク1 観光まちづくり戦略に掲げる課題の順位付け

- ① 対象マーケットに知られていない・・・ 6名
- ② 近隣都市からの集客に頼っている・・・ 1名
- ③ 日帰り（昼食なし）の割合が高い・・・ 1名
- ④ 滞在時間が短く、周遊箇所が少ない・・・ 15名

ワーク2 これから社会が大きく変わることをふまえて、加古川でやってみたいこと

イベント関係

- ・アートのみち（年に2回、コンサートとアートのコラボ）
- ・季節ごとに土曜夜市
- ・世界一のイベント
- ・マニアックなイベント
- ・初日の出高御位山おもてなしマーケット
- ・観光地で土日にマーケット
- ・尾上町ホテルまつり

インバウンド対策

- ・世界のマイナー都市と姉妹都市を沢山組んで交流して人を呼ぶ
- ・少年自然の家のインバウンド向け素泊まり利用

施設の活用・整備

- ・定期的に年間を通じてイベントを開催する会場
- ・卸売市場の活用（全天候型B B Q、夜に映画、道の駅の役割も）
- ・鹿児の庭、市役所前、小柳公園の活用（夕方からのイベント等）
- ・権現キャンプ場の活用（権現湖で水上スポーツ、キャンプ場整備、日本一のハーフパイプ）
- ・加古川駅前の周遊ルート整備（ベルデモール、寺家町、ニッケ）
- ・泊まりでの仕事体験
- ・空き家を利用したファームパーク作り
- ・キャンピングカーに宿泊できるグランピング
- ・バーベキューサイト
- ・フルーツパーク周辺を宿泊もできる体験型レジャー施設として整備
- ・スケートボード場の整備（権現パーキング、アクア交流館）

- ・平荘湖アクア交流館を更地にして駐車場にし、湖面でカヌーやウインドサーフィン
- ・権現パークの計画縮小、オートキャンプ拡充、湖面でカヌーやウインドサーフィン
- ・加古川の川沿いの県道18号線をアメリカのルート66にしてしまう。(ヤシの木を植え、路面に色を塗り、ロゴを書き、道路沿いに道の駅)
- ・高御位山のふもとでカフェ
- ・暗い加古川の夜をライトアップ

ツアー・周遊ルートの整備

- ・加古川に観光船、駅から船着き場まで人力車
- ・市北部の活用（フルーツ狩り、梅酒や果物加工の体験学習、温泉、芝滑り、BBQサイト）
- ・トレッキング+ハイキング+山登り+加古川で水泳+民泊（終日過ごせるまち）
- ・暇なお寺に泊まってもらう（地域と交流する場の提供）
- ・体験型観光、交流型観光、長期滞在型観光
- ・みとろ周辺でグランピング+地元の食材、収穫体験
- ・加古川の川下り
- ・川下り加古川和牛BBQ
- ・工場夜景ツアー+食
- ・工場夜景ツアークルージング
- ・夜景ツアー+釣り船+食
- ・平荘湖ウォーキング
- ・空飛ぶ車（渋滞無し、道路整備不用）
- ・名所を回るバスを充実
- ・バス等公共交通機関の充実

その他

- ・元気で暇な年寄りに関わってもらう観光事業（人件費安い、年寄りの生きがい）
- ・飲食街（○○横丁、○○村）

以上